

過去の出題傾向について確認しておこう！

阪大入試研究[国語(文)]

▶ 出題一覧表

過去10年の大阪大学(文)の入学試験で出題された文章の出典を次の表にまとめた。

	Ⅰ 現代文	Ⅱ 現代文	Ⅲ 古文	Ⅳ 漢文
2016	『科学者という仕事』 酒井邦嘉	『海炭市叙景』 佐藤泰志	『平家物語』	『風俗通義』
2015	『私という現象』 三浦雅士	『墓畔の家』 堀辰雄	『古本説話集』	『中山盜録』 楊維禎
2014	『羽根を交わす蝶たち』 郭基煥	『少年』 北杜夫	『宿直物語』 沢田名垂	『後漢書』逸民列伝 范曄
2013	『ロスト近代』 橋本努	『晩春』 岡本かの子	『今鏡』	『搜神記』 干宝
2012	『独学の精神』 前田英樹	『一個』 永井龍男	『都のつと』 宗久	『宋文選』
2011	『日本辺境論』 内田樹	『夏わかば』 野坂昭如	『栄花物語』	『蘭軒集』 王旭
2010	『定本柄谷行人集 第4巻 ネーションと美学』 柄谷行人	『果汁』 小川洋子	『堤中納言物語』	『後漢書』 范曄
2009	『日本型「世論」の成立— 情報宣伝から世論調査へ』 佐藤卓己	『力』 宮本輝	『十訓抄』 六波羅二藤左衛門入道	『小畜集』 王禹偁
2008	『蟬の美と造型』 高村光太郎	『硝子障子のシルエット』 島尾敏雄	『平家物語』	『説苑』 劉向編
2007	『伝統と創造』 梅原猛	『いるか療法—〈突発性難 聴〉』 山本文緒	『うたたね』 阿仏尼	『非非堂記』 欧陽脩

▶ 分析と対策

[現代文] 内容の深い評論が出題される傾向にあるので、哲学的テーマを中心に様々なジャンルを読みこなしたい。小説は、過去問や模擬試験はもちろん、他の国公立大学等で出題された小説まで手を広げたい。ともに記述の字数の目安は110字程度であり、その字数で論理的な文章を構築する練習が欠かせない。

[古文] 前後の文意を踏まえての解答や、しっかりした内容把握が求められるので、単語・文法・和歌・古文常識等の知識を十分に身につけて、広く様々な作品を読んで行ってほしい。また、過去問演習などを通して、現代語訳や説明をまとめる練習にも積極的に取り組んでおきたい。

[漢文] 返り点をつける問題が必出。書き下し問題は、訓点がついている年度もあるが、今年度のように訓点が見つからないこともある。現代語訳問題ともども、何らかの句法のポイントがあることが多いので、土台になる句法・漢字の用法などをしっかり身につけて、過去問による演習に取り組もう。最後のまとめの記述は解答欄が大きいのでしっかり答える必要がある。